クラウドプログラミング最終レポート

19RS080　塚本啓人

# プログラムの概要

自分が今回作成したのは昼休み学食検索機能です。例えば自分が昼休みにお金が５００円しか持っていなく５００円以内の値段で食べることが出来る場所はどこの学食のなんのメニューかを検索してくれるものです。また近くの学食に行きたい時にそこの学食を検索するとどんなメニューがあり値段をいくらか教えてくれるプログラムでもあります。

# 使い方

１．どこの学食にどんなメニューがありそれぞれがどのくらいの値段がするのかを全部見たいときは図１のようにFetch　ALLボタンを押す。

|  |
| --- |
|  |

**図１**

**２．**具体的にどこの学食に行くのかが決まっているときは図２にあるようにNameに行きたい学食の名前を入力しNameボタンを押す事でそこの学食に何のメニューがあるかを見ることが出来る。

|  |
| --- |
|  |

**図２　アルテリアに行きたい場合**

**３．**自分の手持ちが５００円しかなく５００円以内で食べることが出来る学食を探すときは図３のようにpriceのところに５００を入力しプライスボタンを押す。

|  |
| --- |
|  |

**図３**

**４．**単純にカレーライスなどきまったものが食べたいときは図４のようにfoodに自分の食べたいものを入力してfoodボタンを押すとどこの学食にあるかが分かる。

|  |
| --- |
|  |

**図４　カレーライスが食べたいとき**

# 元にしたプログラムの改良点

今回自分は授業第１１回で行ったmbaas\_search2020をもとに改良したものを制作した。

改良点としてはまず授業では二つの（name,lebel）条件からしか検索することが出来なかったが三つの（name,price,food）から検索できるように改良した。

# 感想

今回は始め二つの条件から一つの検索ボタンで検索することが出来る機能を作成しようとしたがなかなかうまくいかず時間がとてもかかったため諦めてしまったので春休みには時間があるので挑戦して見ようと思った。またデータの中にフィードがないまま実行していル事があったのでそのような間違いはこれからしないようにしていきたいと思った。